JST理事長定例記者説明会

Gender Summit 10（GS10）実施企画

2017年2月22日

情報・システム研究機構理事/名古屋大学宇宙地球環境研究所教授
藤井　良一
科学技術振興機構　副理事/ダイバーシティ推進室　室長
渡辺　美代子

科学技術振興機構

GS10の開催企画概要

日程： 2017年（平成29年）5月25日（木）、26日（金）
会場： 一橋講堂（千代田区一ツ橋2-1-2）

テーマ：ジェンダーとダイバーシティ推進を通じた科学とイノベーションの向上

目指すところ：**ジェンダー視点の有無は、科学技術だけでなく、政治や経済、社会や文化等あらゆる局面でダイバーシティを左右し、その先に生まれるイノベーションの質を大きく変える。それを科学的かつ実証的、かつ具体的に議論しながら、現代世界に果たす科学技術の役割と責任を再検証し、日本を含むアジア全体の提言としてまとめ、広く世界に発信する。**

主要（プレナリー）セッションテーマ

※使用言語：英語（日英同時通訳有）

1.ジェンダーの歴史と未来
2.アジアにおける深刻な問題への女性の貢献
3.ジェンダーに基づくイノベーション
4.科学技術の社会的責任

サブセッションテーマ（ワーキンググループで活動中）

※使用言語：英語

1.中等教育における女子学生の文理選択の健全化
2. 女性参画拡大により期待されるイノベーション上の利点の明確化
3. ダイバーシティ推進に係る評価手法の提示
4. スポーツにおける身体とジェンダー・サイエンスの推進
5. 男女共同参画推進のための研究者情報の整備と活用
6. 男性・男子にとってのジェンダー平等

GS10プログラムの概要（1）

プレナリーセッション

1. ジェンダーの歴史と未来

登壇者： 浅川智恵子（IBMフェロー）、山極寿一（京大）、梁其姿（香港大学）

浅川智恵子

⇒ 視覚障碍を生かしながら革新的な科学技術の開発を行い世界を変えてきた事例の講演、ジェンダーの歴史を振り返り今後のジェンダーの方向を考えるための講演、動物の進化を考えた場合の男女の役割のあり方や今後の方向を示す講演をいただく。これら3件の基調講演をもとに、本GS10が従来からの蓄積の上に何を積み上げることができるのか、立ち位置を明確にする。

山極寿一

梁其姿

2. アジアにおける深刻な問題への女性の貢献

登壇者： 阿部玲子（オリエンタルコンサルタンツグローバル）、タン・ヌウェ（ヤンゴン大学）、セン・マム（カンボジア王立農科大学）

阿部玲子

⇒ 新興国が直面する貧困、飢餓等の深刻な課題に取り組む女性研究者/技術者から自身の活動内容について、その背景等も含めて講演いただく。これを通して、ジェンダーを含む多様な視点がグローバルな課題の解決に不可欠であることを共有する。

セン・マム

GS10プログラムの概要(2)

プレナリーセッション

3. ジェンダーに基づくイノベーション

楊雪燕

登壇者: ロンダ・シービンガー(スタンフォード大学)、ヒー・ヤング・パイク(韓国ジェンダードイノベーション・センター)、楊雪燕(西南交通大学) 他

ロンダ・シービンガー

⇒「Gendered Innovations」という概念を最初に提唱したLonda Schiebinger氏を座長として、これに取り組む複数の研究者より具体的応用例等について紹介いただく。プログラミングを含めた科学技術と社会技術のジェンダー研究について、社会の課題を広く捉えたイノベーションについて議論する。

4. 科学技術の社会的責任

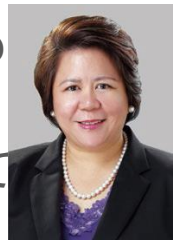
原山優子

キンレイ・ツェリン

登壇者: 原山優子(CSTI)、フィリップ・キャンベル(Nature)、キンレイ・ツェリン(ブータン国農林水産省)、ロウェナ・ゲバラ(フィリピン科学技術省)他

フィリップ・キャンベル

⇒「Nature」のPhilip Campbell氏より、「科学と社会の間の信頼醸成のためジャーナリズムはどういう役割を果たすことが出来るのか」について話題提供をいただく。また、科学は研究成果を以て、実社会に如何に貢献しているのか、貢献を如何に最大化できるかいう問題を提起する。


ロウェナ・ゲバラ

GS10プログラムの概要(3)

パラレルセッション(ワーキンググループ)

① 女性参画拡大により期待されるイノベーション上の利点の明確化

リーダー: 行木陽子(日本IBM株式会社 技術理事)

イノベーションの現場へ女性が参画することにより成果をあげている事例を取り上げ、その効果を議論することにより、その利点を探究する。前半は事例報告(及び質疑応答)、後半はグローバル企業等からジェンダーに造詣のある方を招いてパネルディスカッション形式とする。

主な登壇者:

ナリニ・ジョシ(シドニー大学)

ゼイン・ズンボーリン(日本IBM)

星野 朝子(日産自動車)

ナリニ・ジョシ

GS10プログラムの概要(4)

パラレルセッション(ワーキンググループ)

② ダイバーシティ推進に係る評価手法の提示

リーダー: 藤井良一(情報･システム研究機構 理事)

欧米及び亜太地域の国々(特に研究費配分機関)で実施されているダイバーシティ推進に係る評価事例を比較検討する。各研究機関における女性教員の増加のための取組・施策についての講演を行うとともに、係る評価手法を吟味し、国及び研究費配分機関の評価の指標としての提案を図る。

主な登壇者:

張林秀(中国農業政策センター/中国科学院)

ケリーナ・クレイグ・ヘンダーソン(NSF)

アン・ペピン(フランス国立中央研究所)

張林秀

GS10プログラムの概要(5)

パラレルセッション(ワーキンググループ)

③ スポーツにおける身体とジェンダー・サイエンスの推進

リーダー:　井野瀬久美恵(日本学術会議 副会長・甲南大学文学部教授)

東京オリンピック・パラリンピックを射程におき、セッション前半では、スポーツにおける女性の活躍と社会におけるジェンダー平等との関係を国際比較し、「スポーツ版ジェンダーギャップ指数(GGI)」ともいうべき新たな取組を試みる。セッション後半では、この国際比較の結果をSDGsとも関係づけて、「持続可能」「多様性」といったキーワードのなかで、「オルタナティヴ・スポーツ(※)の可能性」や「オリンピック効果」などの「議論と実践の地平」を広げ、2020年日本からの発信を戦略的に考える。この発信の要となる鈴木大地・スポーツ庁長官がコメンテーターを務める。

主な登壇者:

鈴木　大地(スポーツ庁　長官)

井谷　惠子(京都教育大学)

ペソシュニ・ミトラ(ジャドバプル大学)

鈴木大地

※「オルタナティヴ・スポーツ

⇒競争のみに特化しない
身体運動

GS10プログラムの概要(6)

パラレルセッション(ワーキンググループ)

④ 中等教育における女子学生の文理選択の健全化

リーダー: 宮浦千里(東京農工大学 副学長)

中等教育における女子学生(生徒)の文理選択について、国際比較により、各国の現状の問題について議論する。女性の理系進路選択に関する理論・実践に詳しい専門家より講演いただくとともに、セッション後半では我が国における特色ある取組のベストプラクティスについて情報を共有も図る。

主な登壇者:

ソノコ・ドロテア・ベリングラス・木村
(ライプニッツ農業景観研究センター)

クレーム・ハーマン(オープン大学)

クレーム・ハーマン

GS10プログラムの概要(7)

パラレルセッション(ワーキンググループ)

⑤ 男女共同参画推進のための研究者情報の整備と活用

リーダー: 森初果(東京大学物性研究所 教授)

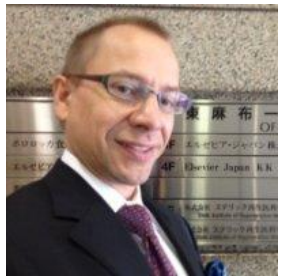
男女共同参画を一層推進すべく、研究者情報の活用方法の検討、情報整備に繋げるための議論を行う。さらに、研究者情報を用いたジェンダーを視点とした研究活動状況や知見等を共有し、今後の活動の契機とする。本セッションでは、「データベースをつくる」、「データベースを解析する」の二部構成とする。

主な登壇者:

アンデーシュ・カールソン(エルゼビア)

パク・ヨンア(韓国科学技術評価・企画院/明知大学)

スヴェーヴァ・アヴェドゥト(イタリア国立研究評議会)



アンデーシュ・カールソン

GS10プログラムの概要(8)

パラレルセッション(ワーキンググループ)

⑥ 男性・男子にとってのジェンダー平等

リーダー: 伊藤公雄(京都大学大学院文学研究科 教授)

アジアを含む男子の学力低下問題を視野に入れつつ、男性・男子をめぐる教育の重要性についての議論を行う。欧米では、男子の学力低下は大きな問題として可視化されつつあるが、アジア地域ではいまだ十分なデータも存在しない。男性・男子問題という課題を視野に入れることで、ジェンダーと科学技術をめぐって新たな提案を図る。セッション後半ではラウンドテーブルディスカッション形式を導入する。

主な登壇者:

多賀 太(関西大学)

フランチェスカ・ボルゴノビ(OECD)

ウェイン・マルティーノ(ウェスタンオンタリオ大学)

フランチェスカ・ボルゴノビ

Gender Summit 10 関連会議　1

Ⅰ．女子中高生と保護者向けシンポジウム

内閣府リコチャレ！関連イベント

※使用言語：日本語
参加無料

向井　千秋

中島さち子

日程：2017年5月27日（土）
場所：一橋講堂
対象：女子中高生、保護者、教員
主催：科学技術振興機構（共催：内閣府）
登壇者：向井 千秋（東京理科大学副学長 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構技術参与）
中島 さち子（ジャズピアニスト　数学者）
※他、女子大生、大学院生、企業技術者等、登壇者交渉中
内容：理工系出身の登壇者による講演とパネルディスカッション。
アジア初の女性宇宙飛行士、向井千秋氏の講演のほか、理系女子学生・社会人の体験談や議論を通じて、女子中高生と保護者に理系の先にある多様な人生を紹介。
理系選択の将来性を伝えるシンポジウム。

理工チャレンジ
女子中高校生・女子学生の理工系分野への選択

Gender Summit 10 関連会議　2

Ⅱ．サテライト会議 ※使用言語：英語

日程： 2017年5月29日（月）、30日（火）

場所： 沖縄科学技術大学院大学

テーマ： Frontiers of Science in Asia-Pacific

主催：沖縄科学技術大学院大学

九州大学

琉球大学

科学技術振興機構

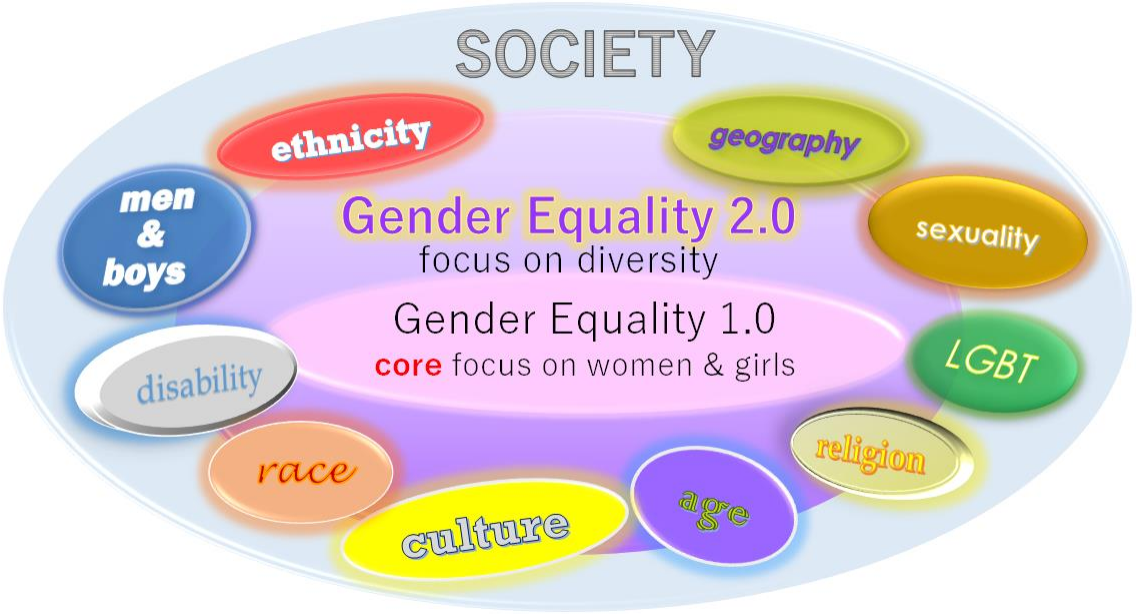
内容：講演およびパネルディスカッション　ポスター発表あり

詳細：https://groups.oist.jp/ged/gender-summit-10-%E2%80%93-satellite-conference

国連持続的開発目標（SDGs）への提言(1)

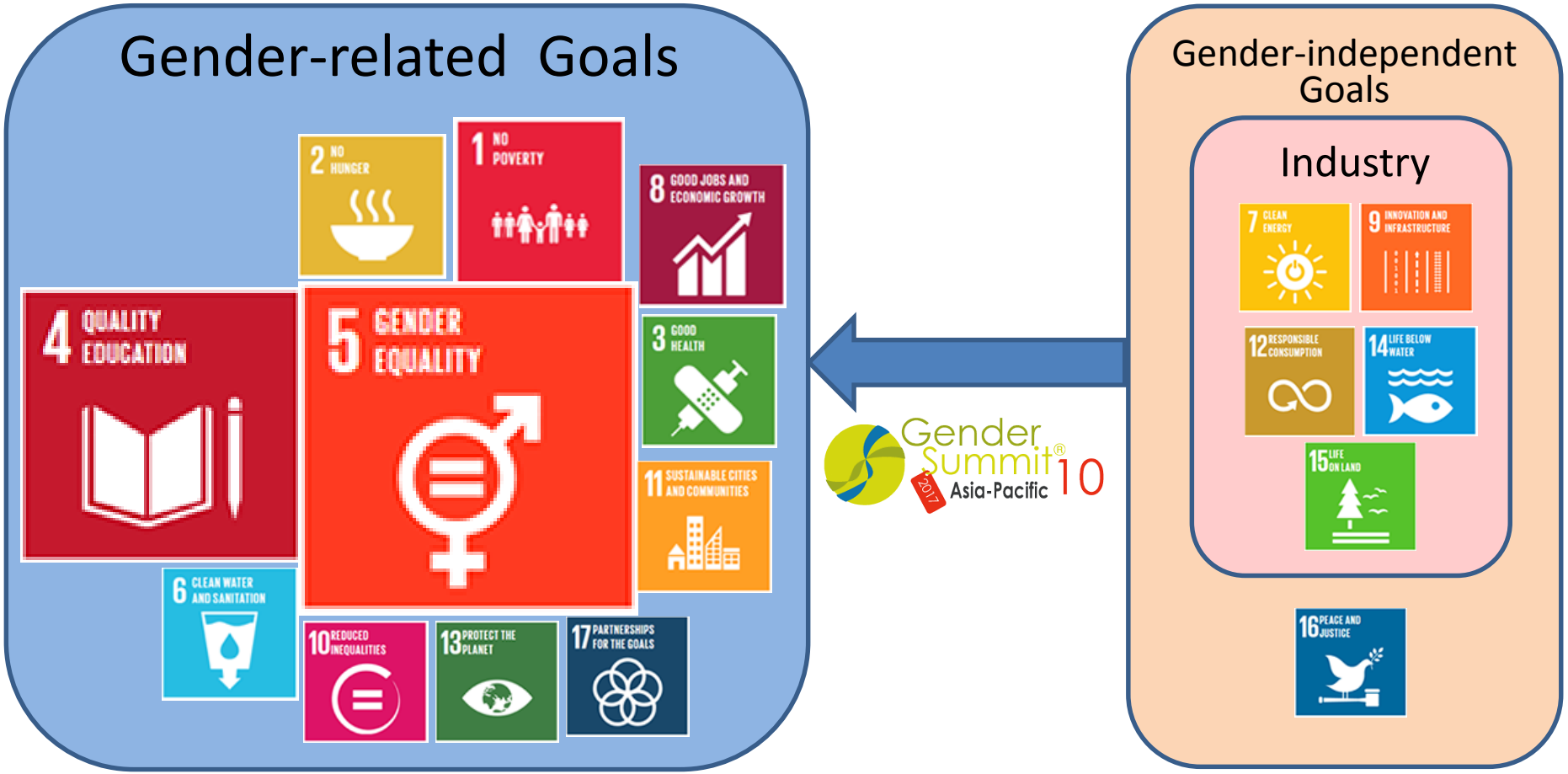
Gender Equalityは5番目の目標

Gender Equalityを再定義
⇒ Diversityに広げる



国連持続的開発目標（SDGs）への提言(2)

ジェンダーですべての目標をつなぐ



GS10のホームページ

募集期間

協賛募集

第一次募集…終了
第二次募集…2017年2月28日まで

ポスター発表募集

第一次募集：終了
第二次募集：2017年2月28日まで

参加登録

早期登録：2016年12月20日～2017年3月15日
通常登録：2017年 3月16日～2017年4月15日